

肝炎ウイルス検査結果記録カードについて

1 概要

令和4年度・令和5年度の肝疾患対策部会にて B 型・C 型肝炎ウイルス検査記録カードを作成できないかとの声があがり、令和6年度肝疾患対策部会にてデザイン等意見をいただき作成に至った。

配布対象者	肝炎ウイルス検査受検者(無料検査及び保健所検査、市町村の健康増進事業に基づく検査等)
配布範囲	肝疾患診療連携拠点病院、肝疾患専門医療機関、県が委託する肝炎ウイルス検査実施医療機関、保健所、配布を希望する市町村
配布方法	検査実施主体による
作成枚数	10,000 枚

2 活用状況等調査

・当カードの活用状況及び、次回の増刷時の参考にすべく活用調査を行った。

(1) 調査対象

肝炎無料検査委託医療機関(25/94 回答)、カード配布を希望した11市町村及び8保健所

肝炎ウイルス検査結果記録カード

氏名 _____

検査機関名 _____

検査項目

HBs抗原	(+ -)	検査日	年	月	日
HCV抗体	(+ -)	検査日	年	月	日
HCV-RNA	(+ -)	検査日	年	月	日

※C型肝炎ウイルスは、排除後もHCV抗体は(+)のままです。

○陽性(+)の場合は、専門医療機関の受診を強く勧めます。

○陰性(-)の場合は、検査を受けた日を覚えておきましょう。

自覚症状などがあれば、再度検査を受けましょう。

○このカードは陰性を証明するものではありません。

秋田県

(2) 調査結果

①カードを肝炎ウイルス検査受検者にお渡ししていますか？

	渡している	配布枚数	検査実績あるが渡していない	検査実績なし
医療機関	4	191	7	14
市町村	7	376	4	0
保健所	6	20	0	2

②受検者にどのようにこのカードをお渡ししていますか？

	結果を記載の上渡している	カードのみを渡し、結果記入はお任せしている	その他
医療機関	4	0	
市町村	6	5	保健所方式では結果を記載した上で配布、医療機関方式ではカードのみ配布
保健所	6	0	結果と検査機関名は記入するが、氏名については自身で記入していただく形で配布

③①で「検査実績があるが渡していない」と回答した理由

【医療機関】 <ul style="list-style-type: none">・外来にカードの在庫がないため・肝炎ウイルス検査結果通知書を渡している・カードが手元に無かった・対象者が少ないため	【市町村】 <ul style="list-style-type: none">・陽性者がいなかったため・準備が間に合わず、今年度の活用に至らなかった。来年度以降活用を検討中。・今年度はタイミングが合わなかったため、来年度以降は配布予定です。・渡すタイミングがわからなかった。
--	--

④改善すべき点

【医療機関】 <ul style="list-style-type: none">・詳細が周知されていない	【保健所】 <ul style="list-style-type: none">・両面を使用して、検査結果を大きく記入できるようにしてはどうか。
--	---

⑤その他意見

【医療機関】 <ul style="list-style-type: none">・あまり活用されていないため、今後はやめた方が良くと思われます。・秋田県の無料検査以外でも使用できればと思いますが、かなり多くなりますし、各施設でそれぞれ運用を考えなければいけないです。他の施設で本カード以外を使用したりしているのか知りたいです。・患者がこのカードを持つ意味が曖昧な印象です。C 型肝炎は既感染と認識できますが、B 型肝炎はこのカードを提示しても再検査になります。活動性の B 型肝炎ではないことはわかりそうですが、陰性の方のみ渡すほうがメリットあるかもしれません。	【保健所】 <ul style="list-style-type: none">・「このカードは陰性を～」 「陽性の場合～」を強調しても良いのではないかと。・受検者に渡したカードがどのように保管・活用されているかについては不明。
--	--

3 今後の取り扱い

- ・新規の方に限らず、希望者や医療機関が必要と判断した方へ柔軟に配布する。